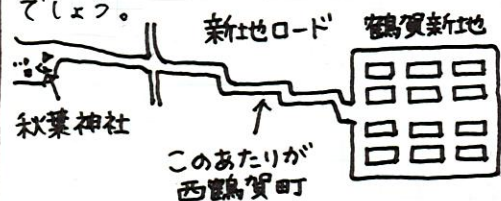




つぼめタクシー
社長 滝沢さんの
西鶴賀歴史コラム④

遊郭の下町・西鶴賀町の誕生 ～耕地に敷かれた一本道のOO～

通称「新地ロード」は当初、条例で権堂・秋葉神社から遊郭まで550m以上 離れず取り決めがあり、数ヶ所折れ曲った稲妻状の道並みでした。のちに裏・表権堂まで拡張された直線道並みとなり、人や物の往来が土着で遊郭はますます繁盛します。それに伴い、遊郭客の食事や飲み処、新地店舗建設に伴う各種職人や遊郭住民の日用品(小間物)・履物を取り扱う店などが通りに軒を連ね始め、徐々に商店街へと変貌しました。町に多量に住んだ人々の活気と新地店舗建設に伴う工事音が相まって、この通りはさぞ賑やかだった事でしょう。



当初、遊郭と新地ロードは一本の行政区分でしたが、新地ロード人口が2000人を超えた事により、明治42年に東区(遊郭)と西区(新地ロード)に分かれ、大正6年(1917年)には「区」から「町」へと呼称を改めました。権堂田んぼに敷かれた一本の道は、こうして自治する「町」(西鶴賀町)へと成長したのです。(次回につづく)

長野市中心市街地活性化協議会
8 One-Stop-Linkage info@machidukuri-nagano.jp
西鶴賀エリアセンター machidukuri-nagano.jp/nishitsuruga

遊郭開業当時にあった稲妻道路は、時代と共になくなりその痕跡もありませんが、竹山稲荷神社のある土場所が一目の折れ目だという説もあります。

前だけで予約ができて、なかなか信用してもらっている感じがしてうれしかったです。小鶴さんは焼き鳥はもちろん、餃子とモチも最高でした。

6月19日(日)東北運動場で、第61回親善野球大会が開かれました。西鶴賀町のほかに東鶴賀町、権堂町、居町がトナメントで対戦。1位・権堂町、2位・居町、西鶴賀町が3位の結果となりました。当日は30度を越す炎天下。2試合目までの約30分間の休憩を木陰で涼んだ選手からは「逆に休憩後がつらい(笑)」という声も出ましたが、試合が始



大健闘

第61回親善野球大会

「Tシャツの左胸のロゴ」
「Big connection of small town」
「西鶴賀」
「Big connection of small town」
「西鶴賀」
「Big connection of small town」



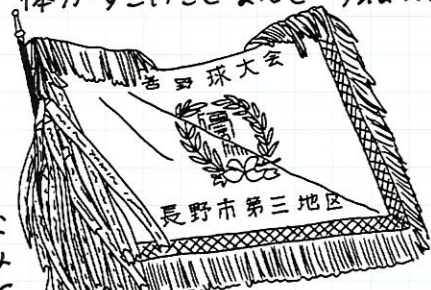
町の昔ながらの提灯に記されている「西鶴」の文字と、「小さな町の大きなつながり」を意味する英文「Big Connection of Small town」が並んでいる。(どこかの偉人が残した有名な言葉だと思っていたら、エビスパンの大吾さんが考案(らしい))



「健闘!!」
「西鶴賀」
「Big connection of small town」
「西鶴賀」
「Big connection of small town」

優勝旗にくぎづけ!!

歴代優勝町が記されたりボンの数に61年間の歴史の重さを感じました。今年は参加していない町名もいくつかあり。こうやってメンバーが揃って出場できること自体がすごいことなんですね...



初戦相手は今年で4年連続優勝となった権堂町。勝がはじまる前年(平成29年)の優勝は西鶴賀町でした。

編集手帖

8月7日(日) 竹山稲荷神社で若連会主催の町内ガーデンパーティー
コロナ禍で2年間お休みしていたので開催は3年ぶり。今年は感染防止対策を念頭に、従来の流しそうめんは行かず、提供は飲食スタイルも現在模索中とのこと。町民みんなが楽しんで西鶴賀の夏の風物詩が帰ってきます。

「野球大会と時を同じくして...」
9軒長屋の杉山さん
シールド販売会で大奮闘
杉山さんが6月18日〜26日の週末4日間、日ばて、お大門中庭でシールド販売会を行いました。建築士・久米さんのお手伝いもあり12本のシールドを販売。多くのお客様から「美味しい」のお声をいただきました。商売の大変さを学びながら、試行錯誤して進んでいます。杉山さんも炎天下の中、おつかれさまでした!!



※だかと言、番号を聞かれるのがイヤなわけではなく、聞いているお店の方がいら、しいましたらすみません